

【単元のポイント】

小数のかけ算

5年生 算数 第4単元

学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

【A 数と計算】A(3) 小数の乗法

乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、その計算の仕方を考えたり、それらを用いたりすること。

◆ 評価の 3 観点における目標

【知識・技能】

- 小数 \times 小数の筆算ができる
- 小数点の位置を正しく決められる
- 純小数をかけると積が被乗数より小さくなることを理解している

【思考・判断・表現】

- 整数の計算に帰着して考えられる
- 小数点の位置の決め方を説明できる
- かけ算の性質を使って計算の工夫ができる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 小数の計算を日常生活に活かそうとしている
- 計算の確かめを正確に行おうとしている

◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

1. 小数のかけ算の仕組み

- $2.3 \times 4.5 = 23 \times 45 \div 100 = 1035 \div 100 = 10.35$
- 小数点以下の桁数の合計分、積の小数点を左に移動
- 整数の計算に帰着して考える

2. かける数が1より小さい場合

- $4 \times 0.8 = 3.2$ （積が被乗数より小さくなる）
- 「 $\times 0.1$ は10で割ることと同じ」という理解
- 1より小さい数をかけると減るという感覚を育てる

3. 筆算の手順

- 小数点を無視して整数として計算
- 被乗数と乗数の小数点以下の桁数を合計
- その分だけ右から数えて小数点を打つ

4. つまづきやすいポイント

- 小数点の位置を間違える（桁数を数え間違える）
- $0.5 \times 0.4 = 2.0$ のような間違い（正しくは 0.20 ）
- 末尾の0を消し忘れる、または消しすぎる

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 筆算欄：計算スペースを十分に確保
2. 段階的：整数 \times 小数 \rightarrow 小数 \times 小数の順
3. 検算：逆算や概算で答えを確かめる習慣
4. 文章題：面積、重さなど実生活の問題
5. 1より小さい：純小数をかける問題も扱う